

平成 20 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社  
 (URL <http://www.ccs-inc.co.jp/>)  
 代 表 者 名 代表取締役社長 米田 賢治  
 (コード: 6669 JASDAQ)  
 問い合わせ先 取締役管理本部長 河嶋 良和  
 TEL: (075) 415-8280 (代表)  
 (075) 415-8291 (直通)

## 平成 20 年 7 月期 (連結・個別) 業績予想修正に関するお知らせ

平成20年7月期(平成19年8月1日~平成20年7月31日)の業績予想について、平成19年9月13日付の「平成19年7月期決算短信(連結・個別)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成 20 年 7 月期中間期業績予想の修正等

(1) 連結業績予想の修正等(平成19年8月1日~平成20年1月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年9月13日発表)	2,850	250	240	145
今 回 発 表 予 想(B)	2,720	410	400	260
増 減 額(B-A)	△130	160	160	115
増 減 率	△4.6%	64.0%	66.7%	79.3%
ご参考:前期中間期 (平成18年8月1日~ 平成19年1月31日)	2,526	379	392	219

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 個別業績予想の修正等(平成19年8月1日~平成20年1月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年9月13日発表)	2,450	220	210	130
今 回 発 表 予 想(B)	2,400	310	300	180
増 減 額(B-A)	△50	90	90	50
増 減 率(%)	△2.0%	40.9%	42.9%	38.5%
ご参考:前期中間期 (平成18年8月1日~ 平成19年1月31日)	2,195	346	351	191

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (3) 修正理由

#### (連結)

工業分野の売上高は、北米市場では需要の低迷により若干落ち込んだものの、欧州において円安ユーロ高の傾向が続いている影響もあって、電子半導体向け検査装置メーカーへの出荷が好調であり、当社の主力業界である電子・半導体業界が概ね堅調に推移したことにより、ほぼ計画通りの伸長となりました。しかしながら、新規分野においては、顕微鏡照明の大手ユーザーの在庫調整等もあり、売上高が大幅に減少した為、連結売上高は予想を若干下回る見込みであります。

一方、利益面では、部品の共通化によるコストダウンが実現したこともあり、売上原価の低減を実現したことや、新規分野における開発案件の商品化に遅れが生じ、投資計画・人員計画の一部が下期にずれ込んだこと等により販売費及び一般管理費が抑えられた為、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回発表予想を大きく上回る見込みであります。

#### (個別)

連結と同様の理由により、売上高については予想を若干下回る見込みであります。

利益面では、投資計画・人員計画の一部が下期にずれ込んだこと等により販売費及び一般管理費が抑えられた為、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回発表予想を上回る見込みであります。

## 2. 平成20年7月期通期業績予想の修正等

### (1) 連結業績予想の修正等 (平成19年8月1日～平成20年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月13日発表)	6,200	790	770	470
今回発表予想(B)	5,800	800	780	500
増減額(B-A)	△400	10	10	30
増減率	△6.5%	1.3%	1.3%	6.4%
ご参考：前期 (平成18年8月1日～ 平成19年7月31日)	5,185	710	721	431

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (2) 個別業績予想の修正等 (平成19年8月1日～平成20年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月13日発表)	5,300	650	640	390
今回発表予想(B)	5,040	670	660	400
増減額(B-A)	△260	20	20	10
増減率(%)	△4.9%	3.1%	3.1%	2.6%
ご参考：前期 (平成18年8月1日～ 平成19年7月31日)	4,504	623	625	366

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### (3) 修正理由

#### (連結)

通期の見通しについては、サブプライムローン問題による景気減速や原油・原材料高騰による企業収益の低下で電子半導体分野での設備投資が抑える傾向が見受けられ、当初見込みよりも厳しい環境になると思われます。また、新規分野においては、開発案件の商品化に遅れがあり、通期売上高は当初の計画を下回る見込みであります。

利益面につきましては、開発案件の投資計画・人員計画を遂行していくものの、引き続き売上原価低減の努力を続けるとともに、販売費及び一般管理費の計画を見直し、一層の業務の合理化により、費用の増加を抑えてまいります。したがって、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を若干上回る見込みであります。

#### (個別)

通期の見通しにつきましては、連結と同様の理由により、売上高については前回発表予想を下回り、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、前回発表予想を若干上回る見込みであります。

以 上

注) 上記業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。